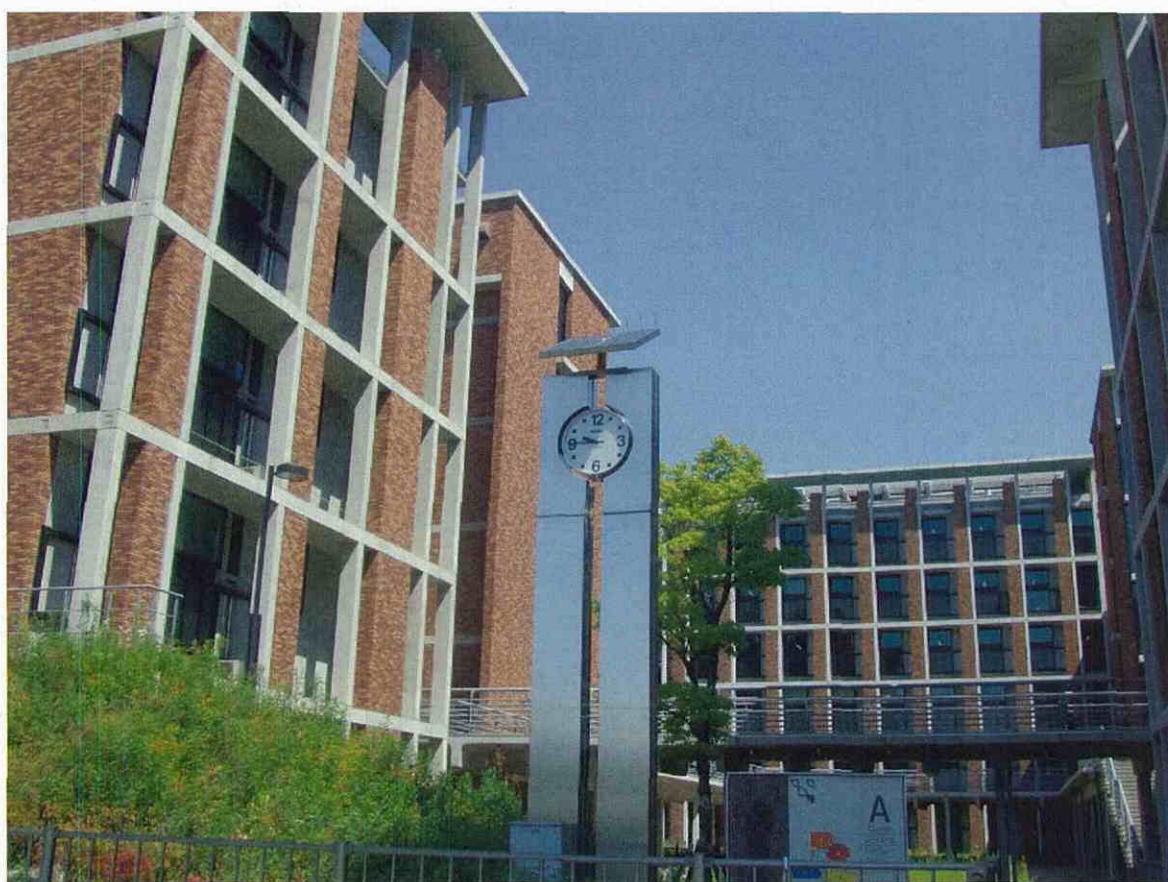


京 都 大 学

大学院工学研究科・工学部

概 要



平成20年度

目次

1. 工学研究科・工学部の理念.....	1
2. アドミッション・ポリシー 求める学生像.....	2
3. 沿 革.....	3
4. 組 織 図.....	5
5. 大学院の専攻別講座等名、学部の学科別学科目名.....	6
6. 平成 20 年度役職者一覧	7
7. 職 員 数.....	8
8. 学 生 数.....	9
9. 平成 20 年度入学状況.....	10
10. 卒業・修了状況及び学位授与者数.....	11
11. 研究生、外国人留学生、招へい外国人学者及び部局間協定一覧.....	12~14
12. 教育・研究プロジェクト等.....	15
13. 工学部公開講座.....	16
14. 図書関係.....	17
15. 予算関係及び建物面積.....	18

(表紙)

(A クラスタコミュニケーションスクエア)(桂キャンパス)

1. 工学研究科・工学部の理念

学問の本質は真理の探求である。

その中であって、工学は人類の生活に直接・間接に関与する学術分野を担うものであり、分野の性格上、地球社会の永続的な発展と文化の創造に対して大きな責任を負っている。

京都大学工学研究科・工学部は、上の認識のもとで、基礎研究を重視して自然環境と調和のとれた科学技術の発展を図るとともに、高度の専門能力と高い倫理性、ならびに豊かな教養と個性を兼ね備えた人材を育成する。

このような研究・教育を進めるにあたっては、地域社会との連携と国際交流の推進に留意しつつ、研究・教育組織の自治と個々人の人権を尊重して研究科・学部の運営を行い、社会的な説明責任に応えるべく可能な限りの努力をする。

(参考)

京都大学の基本理念

京都大学は、創立以来築いてきた自由の学風を継承し、発展させつつ、多元的な課題の解決に挑戦し、地球社会の調和ある共存に貢献するため、自由と調和を基礎に、ここに基本理念を定める。

研究

1. 京都大学は、研究の自由と自主を基礎に、高い倫理性を備えた研究活動により、世界的に卓越した知の創造を行う。
2. 京都大学は、総合大学として、基礎研究と応用研究、文科系と理科系の研究の多様な発展と統合をはかる。

教育

3. 京都大学は、多様かつ調和のとれた教育体系のもと、対話を根幹として自学自習を促し、卓越した知の継承と創造的精神の涵養につとめる。
4. 京都大学は、教養が豊かで人間性が高く責任を重んじ、地球社会の調和ある共存に寄与する、優れた研究者と高度の専門能力をもつ人材を育成する。

社会との関係

5. 京都大学は、開かれた大学として、日本および地域の社会との連携を強めるとともに、自由と調和に基づく知を社会に伝える。
6. 京都大学は、世界に開かれた大学として、国際交流を深め、地球社会の調和ある共存に貢献する。

運営

7. 京都大学は、学問の自由な発展に資するため、教育研究組織の自治を尊重するとともに、全学的な調和をめざす。
8. 京都大学は、環境に配慮し、人権を尊重した運営を行うとともに、社会的な説明責任に応える。

(平成13年12月4日制定)

2. アドミッション・ポリシー 求める学生像

工学研究科の理念・目的

学問の本質は真理の探求です。その中において、工学は人類の生活に直接・間接に関与する学術分野を担っており、地球社会の永続的な発展と文化の創造に対して大きな責任を負っています。京都大学大学院工学研究科は、この認識のもとで、基礎研究を重視して自然環境と調和のとれた科学技術の発展を先導するとともに、高度の専門能力と創造性、ならびに豊かな教養と高い倫理性を兼ね備えた人材を育成することをめざしています。

修士課程では、広い学識と国際性を修得させ、自ら課題を発見し解決する能力を有する高度技術者、研究者を、博士後期課程では、研究を通じた教育や実践的教育を介して、創造的研究チームを組織し新しい研究分野を国際的に先導することのできる研究者を育成します。この目的を達成するため、工学研究科では、修士課程教育プログラムに加えて、修士課程と博士後期課程を連携する教育プログラムを開設し、豊富な科目を幅広く提供します。

工学研究科が望む学生像

工学研究科では、次のような入学者を求めます。

- (1) 工学研究科が掲げる理念と目的に共感し、これを遂行するための基本的能力と意欲を有する人。
- (2) 自ら真理を探求するために必要な基礎学力を有し、既成概念にとらわれない認識力と判断力を有する人。
- (3) 創造的に新しい世界を開拓しようとする意欲と実行力に満ちた人。

工学部が望む学生像

工学部では、次のような入学者を求めます。

- (1) 高等学校の学習内容をよく理解し、工学部で基礎学理を学ぶのに十分な能力を備えている人。
- (2) 既成概念にとらわれず、自分自身の目でしっかりと自然現象を確かめ、その本質を理解しようとする人。
- (3) 創造的に新しい世界を開拓しようとする意欲とバイタリティに満ちた人。

3. 沿革

明治30. 6 京都帝国大学設置
9 理工科大学開設
土木工学科、機械工学科設置

31. 9 電気工学、採鉱冶金学、製造化学の3学科設置

大正 3. 7 理工科大学を理科大学と工学大学に分離
9 土木・機械・電気・採鉱冶金・工業化学科を設置
8. 2 工科大学は工学部となる
9. 8 建築学科設置

昭和14. 3 燃料化学科設置
15. 4 化学機械学科設置
16. 3 繊維化学科設置
17. 3 採鉱冶金学科を鉱山学科と冶金学科に分離、航空工学科設置
21. 1 航空工学科廃止、応用物理学科設置
22. 9 京都帝国大学が京都大学と改称
24. 5 新制京都大学設置
28. 4 大学院工学研究科設置
29. 4 電子工学科設置
30. 4 応用物理学科を航空工学科に改称
32. 4 大学院工学研究科原子核工学専攻設置
33. 4 原子核工学科、衛生工学科設置
34. 4 オートメーション研究施設、数理工学科設置
35. 4 精密工学科、合成化学科設置
36. 4 電気工学第二学科、金属加工学科、電離層研究施設設置
繊維化学科を高分子化学科、化学機械学科を化学工学科に改組、改称
37. 4 機械工学第二学科設置
38. 4 交通土木工学科設置
39. 4 建築学第二学科設置、鉱山学科を資源工学科に改称
41. 4 超高温プラズマ研究施設設置
燃料化学科を石油化学科に改組、改称
45. 4 情報工学科設置
50. 4 機械工学第二学科を物理工学科に改組、改称
51. 5 超高温プラズマ研究施設が京都大学ヘリオトロ核融合研究センターとして発足
53. 4 イオン工学実験施設設置
56. 4 電離層研究施設が京都大学超高層電波研究センターとして発足
58. 4 分子工学専攻設置
60. 4 環境微量汚染制御実験施設設置
61. 4 重質炭素資源転換工学実験施設設置
62. 5 応用システム科学専攻設置

平成 元. 5 オートメーション研究施設廃止、高度情報開発実験施設設置
3. 4 環境地球工学専攻設置
4. 4 メゾ材料研究センター設置
5. 4 化学系の改組
学部の5学科（工業化学、石油化学、化学工学、高分子化学、合成化学）を工業化学科に、研究科の5専攻（学科に同じ）と分子工学専

攻を材料化学、物質エネルギー化学、分子工学、高分子化学、合成・生物化学、化学工学の6専攻に改組

6. 6 物理系の改組
学部の7学科（機械工学、冶金学、航空工学、原子核工学、精密工学、金属加工学、物理工学）を物理工学科に、研究科の7専攻（学科に同じ）を、機械工学、機械物理工学、精密工学、エネルギー応用工学、原子核工学、材料工学、航空宇宙工学の7専攻に改組

7. 4 電気系及び情報系の改組
学部の、電気工学科、電子工学科、電気工学第二学科の3学科を電気電子工学科に、数理工学科及び情報工学科の2学科を情報学科に、研究科の6専攻（電気工学、電子工学、電気工学第二、数理工学、情報工学、応用システム科学）を電気工学専攻、電子物性工学専攻、電子通信工学専攻、数理工学専攻、情報工学専攻、応用システム科学専攻に各々改組
環境微量汚染制御実験施設を環境質制御研究センターに名称変更

8. 4 土木系及び建築系の改組
学部の、土木工学科、衛生工学科、交通土木工学科、資源工学科の4学科を地球工学科に、建築学科及び建築学第二学科の2学科を建築学科に改組
また、研究科の7専攻（土木工学、衛生工学、交通土木工学、資源工学、建築学、建築学第二、環境地球工学）を土木工学専攻、環境工学専攻、土木システム工学専攻、資源工学専攻、建築学専攻、生活空間学専攻、環境地球工学専攻に各々改組し、大学院重点化を完了
エネルギー科学研究科の新設に伴い、エネルギー応用工学専攻を廃止
附属重質炭素資源転換工学実験施設の廃止

9. 4 高度情報実験施設は、総合情報メディアセンターへの統合により廃止
10. 4 情報学研究科の新設に伴い、電子通信工学専攻、数理工学専攻、情報工学専攻及び応用システム科学専攻を廃止
附属イオン工学実験施設、附属メゾ材料研究センター及び附属環境質制御研究センターが、学部附属施設から研究科附属施設に転換

11. 4 附属量子理工学研究実験センター設置
13. 4 附属桂インテックセンター設置
14. 3 附属メゾ材料研究センター廃止
4 附属情報センター設置

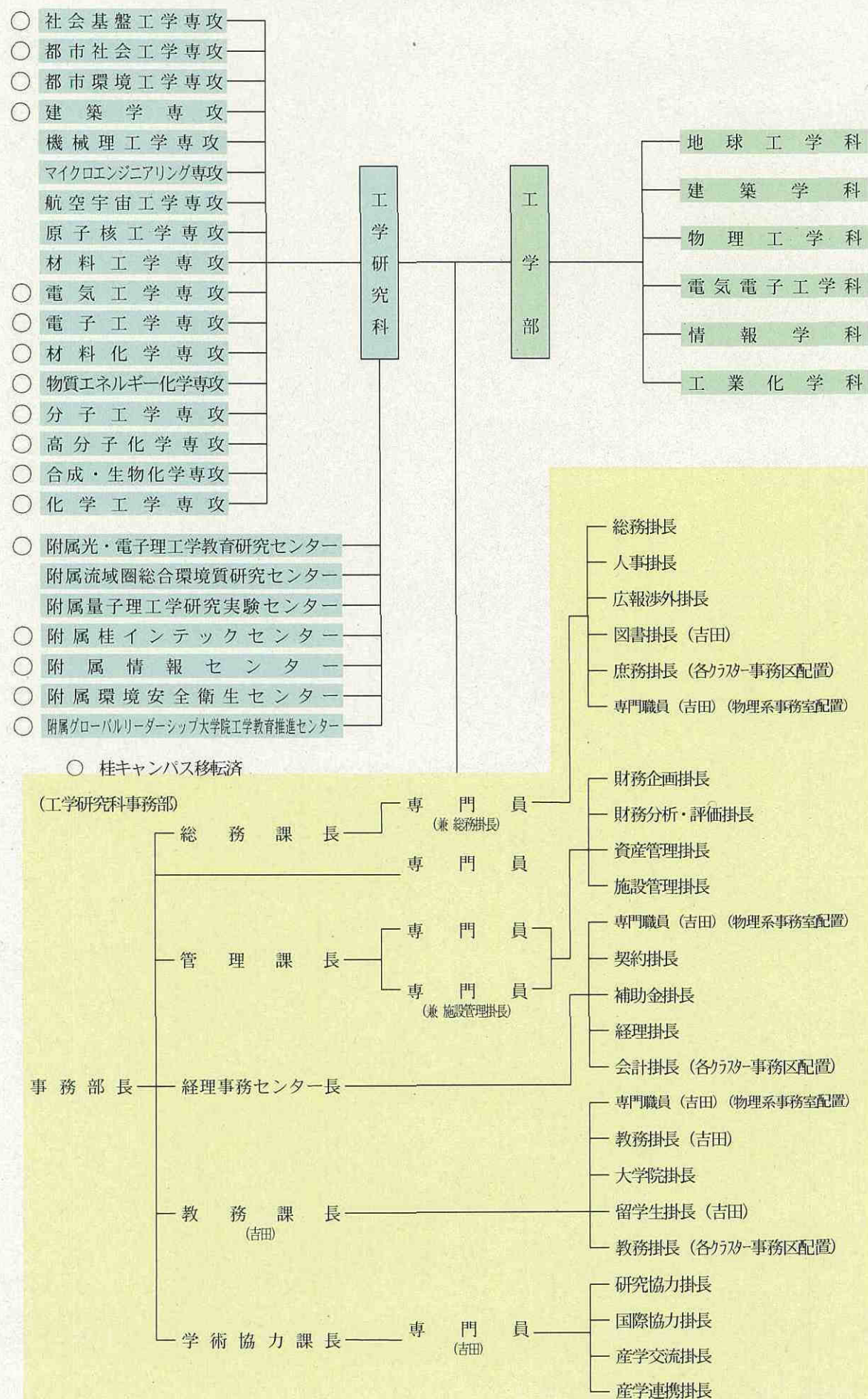
15. 4 地球系及び建築系の改組、並びに電気系の名称変更
研究科の5専攻（土木工学、土木システム、資源工学、環境工学、環境地球工学）を社会基盤工学、都市社会工学、都市環境工学の3

専攻に改組

また、生活空間学専攻を廃止し、電子物性工学専攻を電子工学専攻に名称変更

- 10 桂キャンパス開学
電気工学、電子工学、材料化学、物資エネルギー化学、分子工学、高分子工学、合成・生物化学、化学工学の8専攻及び附属イオン工学実験施設が、Aクラスターへ移転
16. 4 附属環境安全衛生センター設置
- 10 事務部が桂キャンパスBクラスターへ、建築学専攻がCクラスターへ移転
17. 4 研究科の4専攻（機械工学、機械物理学、精密工学、航空宇宙工学）を機械理工学、マイクロエンジニアリング、航空宇宙工学の3専攻に改組
附属環境質制御研究センターを附属流域圏総合環境質研究センターに改組
- 10 寄附講座「日中環境技術研究講座」設置
ナノメディシン融合教育ユニット
18. 10 社会基盤工学、都市社会工学、都市環境工学の3専攻が桂キャンパスCクラスターへ移転
19. 4 附属光・電子理工学教育研究センター設置
先端医工学研究ユニット設置
- 5 寄附講座「エネルギー資源開発工学 (JAPEX) 講座」設置
- 12 グローバルリーダーシップ大学院工学教育推進センター設置
20. 4 寄附講座「社会基盤安全工学 (J R 西日本) 講座」設置

4. 組織図



5. 大学院の専攻別講座等名、学部の学科別学科目名

1. 大学院の専攻別講座等名

大学院	専攻	講座
工学研究科 17専攻 83講座 7施設	社会基盤工学専攻	応用力学, 地殻工学, 構造工学, 構造材料学, 地盤・水工学
	都市社会工学専攻	都市基盤システム工学, 都市社会計画学, 交通マネジメント工学, ライフライン工学, 社会基盤マネジメント工学
	都市環境工学専攻	地殻環境工学, 環境デザイン工学, 都市空間工学, 居住空間学, 環境情報学, ウォーターフロント環境工学, 複合構造デザイン工学, 環境システム工学, 環境衛生学, ジオフロント環境工学, 総合環境学, 環境材料学, 環境構成学
	建築学専攻	建築保全再生学, 人間生活環境学, 建築史学, 建築構法学, 建築環境計画学, 建築設計学, 建築構造学, 建築生産工学
	機械理工学専攻	機械システム創成学, 生産システム工学, 機械材料力学, 流体理工学, 物性工学, 機械力学, バイオエンジニアリング
	マイクロエンジニアリング専攻	構造材料強度学, ナノシステム創成工学, ナノサイエンス, マイクロシステム創成
	航空宇宙工学専攻	航空宇宙力学, 航空宇宙基礎工学, 航空宇宙システム工学
	原子核工学専攻	量子ビーム科学, 量子物質工学, 核エネルギー工学
	材料工学専攻	材料設計工学, 材料プロセス工学, 材料物性学, 材料機能学, 先端材料機能学, 先端材料物性学
	電気工学専攻	複合システム論, 電磁工学, 電気エネルギー工学, 電気システム論
	電子工学専攻	集積機能工学, 電子物理工学, 電子物性工学, 量子機能工学
	材料化学専攻	機能材料設計学, 無機材料化学, 有機材料化学, 高分子材料化学
	物質エネルギー化学専攻	エネルギー変換化学, 基礎エネルギー化学, 基礎物質化学, 触媒科学
	分子工学専攻	生体分子機能化学, 分子理論化学, 量子機能化学, 応用反応化学
	高分子化学専攻	先端機能高分子, 高分子合成, 高分子物性
	合成・生物化学専攻	有機設計学, 合成化学, 生物化学
	化学工学専攻	環境プロセス工学, 化学工学基礎, 化学システム工学
(附属教育研究施設等)	光・電子理工学教育研究センター 流域圏総合環境質研究センター 量子理工学研究実験センター 桂インテックセンター 情報センター 環境安全衛生センター グローバルリーダーシップ大学 院工学教育推進センター	(平成19年4月開設) 京都市西京区京都大学桂 (平成17年4月開設) 大津市由美浜1の2 (平成11年4月開設) 宇治市五ヶ庄 (平成13年4月開設) 京都市西京区京都大学桂 (平成14年4月開設) 京都市西京区京都大学桂 (平成16年4月開設) 京都市西京区京都大学桂 (平成19年12月開設) 京都市西京区京都大学桂

2. 学部の学科別学科目名

学部	学科	学科目
工学部 6学科 14学科目	地球工学科	土木工学, 環境工学, 資源工学
	建築学科	建築学
	物理工学科	機械システム学, 材料科学, エネルギー理工学, 宇宙基礎工学
	電気電子工学科	電気電子工学
	情報学科	計算機科学, 数理工学
	工業化学科	創成化学, 工業基礎化学, 化学プロセス工学

6. 平成20年度役職者一覧

工学研究科長・工学部長

副学長 大 鷲 幸一郎

副研究科長

評議員 小 森 悟
評議員 橘 邦 英
森 澤 眞 輔
竹 脇 出

専攻長

社会基盤工学専攻	石 田 毅	電気工学専攻	萩 原 朋 道
都市社会工学専攻	大 津 宏 康	電子工学専攻	川 上 養 一
都市環境工学専攻	田 村 正 行	材料化学専攻	木 村 俊 作
建築学専攻	井 上 一 朗	物質エネルギー化学専攻	江 口 浩 一
機械理工学専攻	中 部 主 敬	分子工学専攻	榊 茂 好
マイクロエンジニアリング専攻	立 花 明 知	高分子化学専攻	澤 本 光 男
航空宇宙工学専攻	斧 高 一	合成・生物化学専攻	吉 田 潤 一
原子核工学専攻	功 刀 資 彰	化学工学専攻	大 嶋 正 裕
材料工学専攻	中 村 裕 之		

施設長

附属光・電子理工学教育研究センター	石 川 順 三	附属情報センター	北 野 正 雄
附属流域総合環境研究センター	内 山 巖 雄	附属環境安全衛生センター	川 崎 昌 博
附属量子理工学研究実験センター	伊 藤 秋 男	附属ロボット・メカトロニクス工学教育推進センター	榎 木 哲 夫
附属桂インテックセンター	小久見 善 八		

学科長

地球工学科	田 村 武	電気電子工学科	佐 藤 亨
建築学科	銚 井 修 一	情報学科	吉 川 正 俊
物理工学科	松 原 英一郎	工業化学科	三 浦 孝 一

工学研究科事務部

事務部長	小 山 修 身	経理事務センター長	湯 浅 純 明
専門員	前 野 正 世	教務課長	林 晴 夫
総務課長	野 中 定 雄	学術協力課長	有 本 文 雄
専門員	西 村 澄 夫	専門員	岡 崎 富 男
管理課長	和 田 薫		
専門員	田 中 哲 郎		
専門員	足 立 融 正		

7. 職員数

(教員)

(黒字：吉田地区等、赤字：桂地区) (平成 20. 4. 1 現在)

区 分	教 員				合 計
	教 授	准教授	講 師	助 教	
社 会 基 盤 工 学 専 攻	9	9(1)	1	11	30(1)
都 市 社 会 工 学 専 攻	4(3)	8(2)		7(1)	19(6)
都 市 環 境 工 学 専 攻	14(2)	13(1)		17(2)	44(5)
建 築 学 専 攻	9	11	1	9	30
機 械 理 工 学 専 攻	13	9	4	11	37
マイクロエンジニアリング専攻	5	4	2	6	17
航 空 宇 宙 工 学 専 攻	6	5	1	5	17
原 子 核 工 学 専 攻	5	5	2	5	17
材 料 工 学 専 攻	10	10		11	31
電 気 工 学 専 攻	6	5	3	6	20
電 子 工 学 専 攻	9	8	2	10	29
材 料 化 学 専 攻	8	6		10	24
物質エネルギー化学専攻	8	4	1	8	21
分 子 工 学 専 攻	5(1)	6	1	5	17(1)
高 分 子 化 学 専 攻	6	7	2	9	24
合 成 ・ 生 物 化 学 専 攻	6(1)	6	1	14	27(1)
化 学 工 学 専 攻	5(1)	5(1)	1	10(1)	21(3)
附属光・電子理工学教育研究センター	1[1]		1		2[1]
附属流域総合環境質研究センター	2[1]	1	1	1	5[1]
附属量子理工学研究実験センター	[1]	2		1	3[1]
附属桂インテックセンター	[1]			[1]	[2]
附 属 情 報 セ ン タ ー	[1]		[2]		[3]
附属環境安全衛生センター	[1]		[1]		[2]
附属グローバル・リーダーシップ大学院工学教育推進センター	[1]		2		2[1]
高等研究院	[1]	1			1[1]
合 計	131(90+41)(8)[8]	125(88+37)(5)	26(16+10)[3]	156(116+40)(4)[1]	438(310+128)(17)[12]

注1：表中の()内は大学院地球環境学堂、大学院経営管理研究部、物質・細胞統合システム拠点、学術情報メディアセンターとの

流動教員であって外数。

注2：表中の[]内は兼務教員であって外数。

(職員)

(黒字：吉田地区、赤字：桂地区) (平成 20. 4. 1 現在)

区分	事務職員	教務、技術職員	合計
社 会 基 盤 工 学 専 攻	C クラスター事務区	2	22
都 市 社 会 工 学 専 攻		1	
都 市 環 境 工 学 専 攻		4	
建 築 学 専 攻		2	
地 球 工 学 科	地球工学科事務室	3	3
建 築 学 科	建築学科事務室	2	2
機 械 理 工 学 専 攻	物 理 系 事 務 室	4	28
マイクロエンジニアリング専攻		1	
航 空 宇 宙 工 学 専 攻			
原 子 核 工 学 専 攻		3	
材 料 工 学 専 攻		6	
物 理 工 学 科	A クラスター事務区		27
電 気 工 学 専 攻			
電 子 工 学 専 攻			
材 料 化 学 専 攻		1	
物質エネルギー化学専攻		3	
分 子 工 学 専 攻		1	
高 分 子 化 学 専 攻		1	
合 成 ・ 生 物 化 学 専 攻		4	
化 学 工 学 専 攻			
電 気 電 子 工 学 科	電気電子工学科事務室	3	3
工 業 化 学 科	工業化学科事務室	4	4
情 報 学 科		2	2
附 属 桂 インテックセンター		1	1
附 属 情 報 セ ン タ ー		3	3
附 属 環 境 安 全 衛 生 セ ン タ ー		5(4+1)	5(4+1)
事 務 室	69(57+12)	7(6+1)	76(63+13)
合 計	125(87+38)	51(33+18)	176(120+56)

8. 学 生 数

1. 大学院

(黒字：吉田地区、赤字：桂地区)(平成20. 4. 1現在)

専 攻 区 分	修 士 課 程		博 士 後 期 課 程			合 計
	1年次	2年次	1年次	2年次	3年次	
社 会 基 盤 工 学	46	38	14 (7)	15 (6)	9 (3)	122 (16)
都 市 社 会 工 学	49	51	22 (10)	23 (15)	19 (10)	164 (35)
都 市 環 境 工 学	96	89	22 (3)	30 (11)	33 (13)	270 (27)
環 境 地 球 工 学	—	—	—	—	2 (1)	2 (1)
建 築 学	52	58	14 (3)	15 (3)	23 (4)	162 (10)
機 械 理 工 学	68	63	11 (5)	11 (3)	13 (1)	166 (9)
マイクロエンジニアリング	27	26	5 (1)	3	9 (1)	70 (2)
航 空 宇 宙 工 学	24	26	5 (1)	4 (2)	8	67 (3)
原 子 核 工 学	25	17	6 (2)	7	9 (1)	64 (3)
材 料 工 学	39	42	11 (4)	6 (2)	7 (3)	105 (9)
機 械 工 学	—	—	—	—	2	2
機 械 物 理 工 学	—	1	—	—	1	2
電 気 工 学	29	38	5	3 (1)	4	79 (1)
電 子 工 学	35	41	10 (4)	8 (1)	10 (4)	104 (9)
材 料 化 学	30	29	7 (2)	10	13 (1)	89 (3)
物質エネルギー化学	35	37	9	6	6 (1)	93 (1)
分 子 工 学	31	36	9 (3)	7	13 (1)	96 (4)
高 分 子 化 学	52	45	12 (1)	9 (3)	18 (3)	136 (7)
合 成 ・ 生 物 化 学	28	31	14 (2)	12 (1)	13	98 (3)
化 学 工 学	31	30	8 (1)	7	8 (5)	84 (6)
合 計	697	698	184 (49)	176 (48)	220 (52)	1, 975 (149)
(吉 田 地 区 合 計)	183	175	38 (13)	31 (7)	49 (6)	476 (26)
(桂 地 区 合 計)	514	523	146 (36)	145 (41)	171 (46)	1, 499 (123)

注：表中の () 内は10月入学者で内数。

2. 学 部

(平成20. 4. 1現在)

学 科 区 分	1年次	2年次	3年次	4年次	合 計
地 球 工 学	189	186	187	244	806
建 築 学	84	81	85	104	354
物 理 工 学	239	244	244	325	1, 052
電 気 電 子 工 学	138	133	136	204	611
情 報 学	94	93	95	157	439
工 業 化 学	242	239	242	330	1, 053
合 計	986	976	989	1, 364	4, 315

9. 平成 20 年度入学状況

1. 大学院

修士課程				
専攻	入学定員	入学志願者	専攻	入学者数
社会基盤工学	29	50 (2)	社会基盤工学	44 (2)
都市社会学	31	62 (3)	都市社会学	46 (3)
都市環境工学	77	106 (5)	都市環境工学	92 (4)
建築学	34	71 (9)	建築学	47 (5)
機械理工学	38	166 (7)	機械理工学	64 (4)
マイクロエンジニアリング	17		マイクロエンジニアリング	27
航空宇宙工学	17		航空宇宙工学	23 (1)
原子核工学	19	34	原子核工学	25
材料工学	22	48 (2)	材料工学	37 (2)
電気工学	21	88 (8)	電気工学	27 (2)
電子工学	21		電子工学	35
材料化学	19	213 (9)	材料化学	30
物質エネルギー化学	23		物質エネルギー化学	34 (1)
分子工学	27		分子工学	31
高分子化学	31		高分子化学	46 (6)
合成・生物化学	21	36 (1)	合成・生物化学	28
化学工学	19		化学工学	30 (1)
合計	466	874 (46)	合計	666 (31)

() は外国人留学生で外数。

博士後期課程				
専攻	入学定員	入学志願者	専攻	入学者数
社会基盤工学	9	5 [1] (2)	社会基盤工学	5 [1] (2)
都市社会学	10	7 [2] (5)	都市社会学	7 [2] (5)
都市環境工学	23	16 [6] (5)	都市環境工学	15 [6] (4)
建築学	16	7 [2] (5)	建築学	7 [2] (4)
機械理工学	18	5 [1] (1)	機械理工学	5 [1] (1)
マイクロエンジニアリング	8	4 [2]	マイクロエンジニアリング	4 [2]
航空宇宙工学	8	3 (1)	航空宇宙工学	3 (1)
原子核工学	9	4 [1]	原子核工学	4 [1]
材料工学	10	7	材料工学	7
電気工学	10	4 (1)	電気工学	4 (1)
電子工学	10	5 (1)	電子工学	5 (1)
材料化学	9	5	材料化学	5
物質エネルギー化学	11	7 [2] (2)	物質エネルギー化学	7 [2] (2)
分子工学	12	6	分子工学	6
高分子化学	15	10 [1] (1)	高分子化学	10 [1] (1)
合成・生物化学	10	13 [1] (1)	合成・生物化学	12 [1]
化学工学	9	7 [3]	化学工学	7 [3]
合計	197	115 [22] (25)	合計	113 [22] (22)

注：[] は社会人特別選抜で内数、() は外国人留学生で外数。

2. 学部

学 科	区 分	入学定員	入学志願者			入学者		
			男	女	計	男	女	計
地球工学		185	447	45 (1)	492 (1)	178	11	189
建築学		80	165 (1)	62 (2)	227 (3)	59 (1)	25 (1)	84 (2)
物理工学		235	478 (1)	23 (2)	501 (3)	233 (1)	6	239 (1)
電気電子工学		130	291 (3)	15 (4)	306 (7)	132 (3)	6 (3)	138 (6)
情報学		90	206 (2)	12	218 (2)	88 (2)	6	94 (2)
工業化学		235	609 (2)	68 (2)	677 (4)	213 (2)	29 (2)	242 (4)
合計		955	2,196 (9)	225 (11)	2,421 (20)	903 (9)	83 (6)	986 (15)

注：表中の () 内は外国人留学生で内数。

10. 卒業・修了状況及び学位授与者数

1. 大学院修了者数（専攻別）

専攻	修了課程		博士後期課程
	平成19年度	累計	平成20年4月1日現在 研究指導認定退学者累計
社会基盤工学	44	178	3
都市社会工学	53	188	2
都市環境工学	88	342	15
土 木 工 学		1,996	143
交通土木工学		598	14
土木システム工学		240	23
資 源 工 学		681	40
衛 生 工 学		620	54
環 境 工 学		205	8
環境地球工学		501	28
建 築 学	53	1,438	136
建築学第二		514	51
生活空間学		159	17
機械理工学	56	113	
マイクロエンジニアリング	26	50	2
機 械 工 学		1,154	78
物 理 工 学		462	38
機械物理工学		211	5
精 密 工 学		860	56
原子核工学	21	923	130
冶 金 学		634	47
金属加工学		567	43
材 料 工 学	40	438	8
エネルギー応用工学		57	2
航 空 工 学		388	32
航空宇宙工学	21	210	6
電 気 工 学	47	1,096	94
電 子 工 学	34	949	79
電子物性工学		227	15
電気工学第二		730	67
電子通信工学		110	2
数 理 工 学		785	84
情 報 工 学		508	44
応用システム科学		342	10
工 業 化 学		1,263	212
材 料 化 学	25	360	17
石 油 化 学		758	137
物質エネルギー化学	36	475	25
分 子 工 学	33	630	41
高 分 子 化 学	45	1,510	264
合 成 化 学		582	157
合成・生物化学	31	399	43
化 学 工 学	32	1,150	105
合 計	685	25,601	2,377

2. 博士学位授与者数 (平成20. 4. 1現在)

区 分	工学博士
旧制	大正9年6月以前の学位令によるもの 42 (28)
	大正9年7月以降の学位令によるもの 1,338
新制	大学院博士課程修了者 2,959
	論文提出によるもの 3,997
合 計	8,336 (28)

注：表中の（ ）内は推薦によるもので内数。

3. 学部卒業生数（学科別）

学 科	年 度	昭和27年度～ 平成18年度	平成19年度	累計
土 木 工 学		3,222		3,222
機 械 工 学		2,122		2,122
電 気 工 学		2,112		2,112
鉱 山 学		357		357
資 源 工 学		1,073		1,073
冶 金 学		1,532		1,532
工 業 化 学		2,125		2,125
建 築 学		2,207		2,207
燃 料 化 学		443		443
石 油 化 学		1,296		1,296
化学機械学		295		295
化 学 工 学		1,244		1,244
高 分 子 化 学		1,225		1,225
繊維化学		250		250
応 用 物 理 学		116		116
電 子 工 学		1,606		1,606
航 空 工 学		810		810
原子核工学		714		714
衛 生 工 学		1,390		1,390
数 理 工 学		1,448		1,448
精 密 工 学		1,379		1,379
合 成 化 学		1,259		1,259
電気工学第二		1,447		1,447
金属加工学		1,220		1,220
機械工学第二		505		505
交通土木工学		1,284		1,284
建築学第二		1,149		1,149
情 報 工 学		1,037		1,037
物 理 工 学		480		480
(新)工業化学		2,448	223	2,671
(新)物理工学		2,349	229	2,578
電気電子工学		1,164	133	1,297
情 報 学		791	79	870
地 球 工 学		1,497	174	1,671
(新)建築学		685	82	767
合 計		44,281	920	45,201

11. 研究生、外国人留学生、招へい外国人学者及び部局間協定一覧

1. 研究生等受入れ状況

(平成 20. 4. 1 現在)

専攻・学科	区 分	研究生	研修員	特別聴講 学生	特別研究 学生	合計
社会基盤工学						
都市社会工学						
都市環境工学		3 (3)				3 (3)
建 築 学		5 (3)	3			8 (3)
機 械 理 工 学		3			1	4
機 械 工 学						
機械物理工学						
マイクロエンジニアリング					1 (1)	1 (1)
精 密 工 学						
原子核工学						
材 料 工 学		1 (1)				1 (1)
航空宇宙工学		1 (1)				1 (1)
電 気 工 学			1		1	2
電 子 工 学		1 (1)				1 (1)
材 料 化 学			2			2
物質エネルギー化学		4 (4)	1			5 (4)
分 子 工 学					4	4
高 分 子 化 学						
合成・生物化学		1 (1)				1 (1)
化 学 工 学		2 (2)				2 (2)
地 球 工 学 科						
建 築 学 科						
物 理 工 学 科						
電気電子工学科				2 (2)		2 (2)
情 報 学 科				1 (1)		1 (1)
工 業 化 学 科				1 (1)		1 (1)
合 計		21 (16)	7	4 (4)	7 (1)	35 (21)

注1：表中の（ ）内は、外国人で内数。

注2：研修員は受託研究員を含む。

2. 外国人留学生国別一覧

(平成 20. 4. 1 現在)

区 分 地域・国名等	学部	大学院		合計
		修士課程	博士後期課程	
アジア（19）				
バングラデシュ	1		2	3
中 国	49	30	36	115
マ カ オ	1			1
インドネシア		2	8	10
イ ラ ン			3	3
韓 国	16	13	37	66
マレーシア		2	5	7
カンボジア	1			1
ネ パ ール			9	9
パキスタン			1	1
バーレーン		1		1
ミャンマー		2	1	3
フィリピン		1	3	4
スリランカ		2	2	4
台 湾		3	5	8
タ イ		1	9	10
ベ ト ナ ム	5	2	4	11
イ ン ド			4	4
オ マ ーン			1	1
アフリカ（2）				
エ ジ プ ト			2	2
ケ ニ ア	1		3	4
ヨーロッパ（6）				
キ プ ロ ス			1	1
フ ラ ン ス			1	1
ド イ ツ			2	2
ポ ー ラ ンド			1	1
ポ ル ト ガ ル		1		1
チ ェ コ			1	1
北アメリカ（2）				
カ ナ ダ			3	3
メ キ シ コ			1	1
南アメリカ（4）				
ブ ラ ジ ル		2	4	6
ベネズエラ		1		1
コ ロ ン ビ ア			2	2
チ リ			1	1
計（33）	74	63	152	289

3. 外国人研究留学生等受入状況 (平成 20. 4. 1 現在)

区分 地域・国名等	研究生	特別聴講 学生	特別研究 学生	合計
アジア (5)				
中 国	7	1		8
韓 国	4	2		6
タ イ	1			1
台 湾	1			1
ベ ト ナ ム	1			1
アフリカ (1)				
アルジェリア	1			1
ヨーロッパ (2)				
スウェーデン		1		1
ド イ ツ			1	1
南アメリカ (1)				
ブ ラ ジ ル	1			1
計 (9)	16	4	1	21

4. 招へい外国人学者等受入者数 (平成 19 年度)

区分 地域・国名等	招 へ い 外国人学者	外 国 人 共同研究 者	外 国 人 研 究 員	合計
アジア (10)				
イ ン ド		2		
インドネシア	1			
韓 国	7	3		
タ イ	1			
台 湾	1	5		
中 国	2	14	1	
バングラディシュ	2			
フィリピン		1		
ベ ト ナ ム	1			
マレーシア	1			
ヨーロッパ (10)				
イ ギ リ ス		1		
オーストリア	1			
オ ラ ン ダ	3			
ギ リ シャ	1			
スウェーデン		1		
ス ペ イ ン		1		
チ ェ コ		1		
ド イ ツ	1	3		
フ ラ ン ス	4	1		
ロ シ ア	1	1		
ルーマニア			1	
中東 (1)				
アラブ首長国連邦	1			
北アメリカ (2)				
アメリカ合衆国	3	1	1	
カ ナ ダ	1			
南アメリカ (1)				
ブ ラ ジ ル		1		
オセアニア (2)				
オーストラリア		2		
ニュージーランド	1			
計 (27)	33	38	3	

5. 部局間学術交流協定締結大学

(平成 20. 4. 1 現在)

地域・国名等 区 分	機 関 名	締結年月日
アジア (4)		
中 国	大連理工大学	2003. 7. 3
	同济大学大学院	2005. 12. 31
台 湾	国立成功大学工学院	2006. 11. 21
マレーシア	マラヤ大学	2002. 7. 12
ベトナム	ハノイ土木工科大学	2005. 12. 24
ヨーロッパ (7)		
チエコ	チェコ工科大学ブラハ校工学部	1992. 7. 1
		1996. 4. 3 (更新)
フランス	* グルノーブル工科大学	1991. 11. 18
		1999. 6. 23 (更新)
	ピエール・マリー・キュリー大学 (パリ第6大学)	2004. 2. 10 (再更新)
		1992. 11. 10
		1997. 12. 26 (更新)
ドイツ	エアランゲン・ニュルンベルク大学工学部	2002. 2. 1
		2007. 2. 8 (更新)
	* デュッセルドルフ Heinrich Heine 大学	2002. 5. 17
	* ドルトムント大学	2002. 12. 18
		2007. 12. 18 (更新)
	* カイザースラウテルン大学	2002. 12. 20
		2007. 12. 20 (更新)
	* カールスルーエ大学	2004. 3. 22
	フライブルク大学マイクロシステム工学部・工学研究科 (アメリカ合衆国・ミシガン大学を含めた3大学間協定)	2004. 10. 30
		2007. 10. 1 (更新)
	* ヨハネス・ゲーテンベルグ大学 (マインツ) 物理・数学・計算機科学科	2005. 12. 16
オランダ	* デルフト工科大学	1998. 1. 1
		2003. 2. 17 (更新)
ノルウェー	* ノルウェー科学技術大学 (元トロンハイム大学ノルウェー工科大学)	1990. 9. 1
		1996. 4. 1 (更新)
		2003. 3. 17 (再更新)
スウェーデン	* チャルマーシュ工科大学	2002. 12. 19
		2007. 12. 19 (更新)
連合王国	バーミンガム大学工学研究科等	2003. 12. 5
北アメリカ (2)		
アメリカ合衆国	* ウィスコンシン大学マディソン校工学部	1990. 8. 1
	ワシントン大学工学部	1991. 10. 15
	テキサス大学オースティン校工学部	1991. 12. 1
	* レンズラー工科大学工学部	1995. 1. 1
	フロリダ大学教養学部・教養学研究科	2004. 4. 26
	ミシガン大学工学部・工学研究科 (ドイツ・フライブルク大学を含めた3大学間協定)	2004. 10. 30
		2007. 10. 1 (更新)
カナダ	ウエストオンタリオ大学工学部・理学部	2004. 6. 23
南アメリカ (1)		
ブラジル	サンパウロ大学工学部・工学研究科	2004. 6. 16
14カ国	27大学	

* 授業料不徴収協定締結

12. 教育・研究プロジェクト等

グローバルCOEプログラム

- ・物質科学の新基盤構築と次世代育成国際拠点 (拠点リーダー：澤本 光男 教授)
- ・光・電子理工学の教育研究拠点形成 (拠点リーダー：野田 進 教授)

新工学教育プログラム

- ・特色ある大学教育支援プログラム「コアリッションによる工学教育の相乗的改革」に協力

特色ある大学教育支援プログラム

- ・相互研修型FDの組織化による教育改善

大学院教育改革支援プログラム

- ・インテック・フュージョン型大学院工学教育

寄附講座

- ・日中環境技術研究講座
- ・エネルギー資源開発工学（J A P E X）講座
- ・社会基盤安全工学（J R 西日本）講座

日本学術振興会（J S P S）アジア諸国との交流事業 拠点大学交流

- ・マレーシア（マラヤ大学）環境科学
地域総合管理概念に基づくゼロディスチャージ・ゼロミッション社会の構築
- ・中国（清華大学）都市環境
都市環境の管理と制御

日本学術振興会（J S P S）先端研究拠点事業 ー国際戦略型ー

- ・米国（フロリダ大学）・英国（リーズ大学）・オーストラリア（メルボルン大学）
- ・ドイツ（フリードリッヒ・アレキサンダー大学 エアランゲン・ニュールンベルグ）
- ・スイス（スイス連邦工科大学）
先進微粒子ハンドリング科学

科学技術振興調整費

- ・ナノメディシン融合教育ユニット (平成17年度～)
- ・高次生体イメージング先端ハブ (平成18年度～)
- ・新領域を開拓する独創的人材飛躍システム (平成18年度～)

『アジア人材資金構想』高度専門留学生育成事業

- ・産学協働型グローバル工学人材育成プログラム (平成19年度～)

13. 工学部公開講座

平成19年度 人と工学のつながり	暮らしの中の音響学 温暖効果ガスは、なぜ地球を暖めるのか？ 新時代の信号処理ーデジタル信号処理と制御理論 Catastrophe Risk ー災害リスク危険度ー (高橋 大 弐) (川崎 昌 博) (山 本 裕) (Charles Scawthorn)
平成18年度 健康を支援する工学	健康のリスクを評価する 社会を見守る知的環境とロボット 脳の機能を探る先端イメージング技術 生体機能を育てる技術 (森 澤 眞 輔) (角 康 之) (小 林 哲 生) (富 田 直 秀)
平成17年度 私たちの暮らしを支える工学	電力システムと超伝導応用 身近なところにあるナノテクノロジー 未知の地震と電住まいの安全 ー究極の耐震設計とはー 小さな機械が創る大きな機会 ーマイクロマシンの世界ー (大 澤 靖 治) (平 尾 一 之) (竹 脇 出) (田 畑 修)
平成16年度 身の回りのハイテク	ロボットと人間 ー 機構、技能、そして心へ ー 微生物の多様な能力を人間社会に活かそう 知っているようで知らないポリマーの話 リズムとカオス (吉 川 恒 夫) (今 中 忠 行) (中 條 善 樹) (藤 坂 博 一)
平成15年度 人間ー誕生、生活、そして未来	医学・生物学と工学・情報学の融合 環境と都市・交通 持続的な都市と建築をめざして ー 環境とエネルギー ー 宇宙工学への招待 (松 田 哲 也) (青 山 吉 隆) (吉 田 治 典) (土 屋 和 雄)

14. 図書関係

蔵書統計

(平成 20. 4. 1 現在)

	図書室名等	図 書 (冊数)			雑 誌 (タイトル数)		
		和 書	洋 書	合 計	和 書	洋 書	合 計
1	共通図書室 (共通・化学系)	618	15, 884	16, 502	149	495	644
2	地 球 系 図 書 室	16, 186	38, 844	55, 030	900	877	1, 777
3	建 築 系 図 書 室	62, 893	33, 645	96, 538	448	218	666
4	物 理 系 図 書 室	13, 211	41, 442	54, 653	279	720	999
5	航空宇宙工学図書室	5, 215	14, 004	19, 219	68	183	251
6	電 気 系 図 書 室	17, 374	24, 293	41, 667	395	419	814
7	化 学 系 図 書 室	7, 837	21, 983	29, 820	51	320	371
	合 計	123, 334	190, 095	313, 429	2, 290	3, 232	5, 522

15. 予算関係及び建物面積

1. 予算額

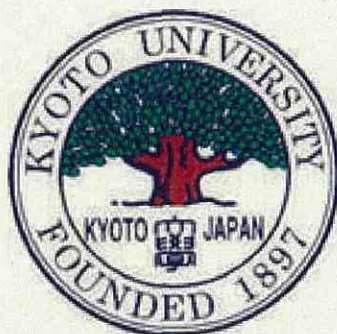
区 分	平成17年度 (千円)	平成18年度 (千円)	平成19年度 (千円)	備 考
人 件 費	6,583,029	6,367,186	6,288,665	
物 件 費	2,384,647	2,185,823	2,194,307	
受託研究費(受入額)	2,246,370	2,541,914	3,430,962	共同研究を含む
科学研究費補助金(受入額)	2,504,485	2,761,180	2,776,710	COEを含む
奨学寄附金(受入額)	612,621	479,385	839,722	寄附講座を含む

2. 建物面積

(平成20.4.1現在)

区 分	面 積 (㎡)
①本部地区	
岡 田 記 念 館	240
土 木 総 合 館	426
土木工学科研究室実験室	108
土木工学科教室研究室	341
土木工学地震観測室	24
工 学 部 5 号 館	2,978
工 学 部 3 号 館 A 棟	664
総合研究棟(工学部3号館北棟)	4,613
電 気 総 合 館	1,846
旧 施 設 部 変 電 所	514
工 学 部 1 号 館	5,411
工学部研究実験棟	1,093
R I 研 究 実 験 棟	2,744
物 理 系 校 舎	18,233
工 学 部 6 号 館	1,501
工 学 部 6 号 新 館	181
石 油 化 学 研 究 室	175
建 築 学 科 製 図 室	252
建 築 学 教 室 本 館	1,615
工 学 部 7 号 館	598
工 学 部 坂 記 念 館	784
工 学 部 8 号 館	2,862
情報工学研究室実験室	508
航空工学研究室実験室	3,412
工学部3号館南棟	1,193
工学部3号館西棟	3,910
工学部総合校舎	4,633
そ の 他	382
小 計	61,241

区 分	面 積 (㎡)
②桂地区	
A ク ラ ス タ ー A 1 棟	11,631
A ク ラ ス タ ー A 2 棟	9,409
A ク ラ ス タ ー A 3 棟	8,451
A ク ラ ス タ ー A 4 棟	9,729
C ク ラ ス タ ー C 1 棟	25,736
C ク ラ ス タ ー C 2 棟	8,738
極 低 温 セ ン タ ー	378
実 験 排 水 処 理 施 設	63
E M セ ン タ ー 棟	2,809
桂インテックセンター棟	6,328
事 務 管 理 棟	4,695
C ク ラ ス タ ー 事 務 棟	295
そ の 他	125
小 計	88,387
③宇治・大津地区	
原 子 核 工 学 実 験 室	2,568
超空気力学実験装置室	670
航空工学科風洞実験室	817
総 合 研 究 実 験 棟	2,077
水 質 汚 染 制 御 実 験 室	789
附属流域圏総合環境質 研究センター研究室	500
小 計	7,421
合 計	157,049



GRADUATE SCHOOL OF ENGINEERING

FACULTY OF ENGINEERING

京都大学大学院工学研究科・工学部概要
平成 20 年度版

編集・発行：京都大学工学研究科総務課広報渉外掛

〒615-8530 京都市西京区京都大学桂

Tel. 075-383-2010

<http://www.t.kyoto-u.ac.jp/>

平成 20 年 6 月発行